

児童生徒支援利用計画書(案) / サービス等利用計画書(案)

利用者(クライアント)氏名	殿	障害程度区分		相談支援事業者名	千葉相談支援事業所Guardian(ガーディアン)
障害福祉サービス受給者証番号				計画作成担当者	山口 哲郎(やまぐち てつろう)
地域相談支援受給者証番号		通所受給者証番号			

計画書(案)作成日		モニタリング期間(開始年月)		利用者同意署名欄	印
-----------	--	----------------	--	----------	---

利用者及びその家族の生活に対する意向(希望する生活)	<p>■新卒で入社した職場のストレス(対人関係や営利企業的なしがらみ)で精神的に不調となってしまった。 ■就職1年目で離職となり自宅でひきこもりきりだったが、3年もあつという間にすぎてしまい、このままでは何も変わらず将来の不安も改善しないので、少しずつ動き出して働けるようになっていきたい。 ■当初は自傷癖やオーバードーズもあったが、衝動的な未遂や再発は避けたい。 ■自己肯定感が低い。 ■対人・就業不安がある。 ■生活リズムが崩れてしまっているので改善したい。 ■いずれ一般就労はしたいが今は自信がない。 ■安心して通えたら良い。 ■無理のない範囲で働きたい。 ■人との関わりを最小限から始めたい。 ■体力を回復したい。 ■自分に合う働き方を見つけたい。 ■体調が悪化しないようにしていきたい。 ■将来的には自立したい。 ■ネガティブになるとフラッシュバックして精神失調による落ち込みやネガティブな思考が強くなるので改善していきたい。</p>
総合的な援助の方針	<p>一般就労を急がず、まずはサポートのある就労継続支援B型事業所の利用を通じて、心理的な安定と生活リズムの回復を基盤に小さな成功体験を積み重ね、自己効力感の向上と対人不安の軽減を図りつつ、ご家庭と連携した支援体制のもと段階的な社会参加を促進し、将来的な安定した就労につなげていけるよう支援していきます。</p>
長期目標(12ヶ月後)	<p>12ヶ月後の理想像として、本人の特性に応じた無理のない対人関係にフォーカスした通所・作業が安定し、自己効力感および対人不安の軽減が図られ、次の進路(就労移行支援・一般就労等)を具体的に検討できる状態となる。</p>
短期目標(6ヶ月毎)	<p>具体的な支援目標として、週1~2回の通所が安定し、同僚(他の利用者)との距離感など関係性が安心できる環境の中で、簡単な作業の継続と居場所の確保に参加できる。</p>

優先順位	解決すべき課題<本人・家族のニーズ>	支援目標<本人と挑戦する目標>	目標達成時期	福祉サービス等<種類・内容・量(頻度・時間)>	課題解決のための<本人の役割>	目標評価時期	その他の留意事項
1	精神症状の安定と再発予防	自分の体調変化に気づき、悪化前に服薬・受診・相談などの対処行動を選択できる	12ヶ月	ご家庭 ●●精神科	体調や気分の変化を意識し、異変を感じた際は服薬・受診・相談を積極的に行う	12ヶ月	無理な負荷や急な環境変化を避け、症状悪化の兆候を早期に共有する
2	就労の安定と日中活動の定着	自分のペースを保ちながら、安定して通所し日中活動に参加できる	12ヶ月	就労継続支援B型事業所 ■■	決めた通所日に合わせて起床・準備を行い、無理のない範囲で通所を継続する	12ヶ月	体調に応じた柔軟な通所設定(半日通所等)とし、欠席時も関係が途切れないよう配慮する
3	作業遂行力と持続力の向上	決められた作業を一定時間継続し、最後までやり遂げることができる	12ヶ月	就労継続支援B型事業所 ■■	与えられた作業に取り組み、辛さを感じた時などはスタッフに吐露しながら休息を意識しスモールステップで進めていく	12ヶ月	難易度・作業量を段階的に調整し、成功体験を積み重ねる
4	対人関係と集団適応の向上	場面に応じた関わり方や距離の取り方を、生活支援員や職業指導員などに相談しながら身につけ、安心して人と関われる	12ヶ月	就労継続支援B型事業所 ■■	相手の話を聞き、自分が安心して聞かれる距離感を周囲に伝えながら少しずつ関係性を築いていけるよう意識して関わる	12ヶ月	対人疲労などの失調やトラブルを未然に防ぐため、対人等の環境調整と関わり方の具体化を行う
5	サービス利用の最適化と意思決定支援	自分の希望や困りごとを整理し、必要な支援を自分で選択できる	12ヶ月	千葉相談支援事業所Guardian	自分の希望や困りごとを言葉(メモ等を含む)にし、支援内容や状況等について自分の意思を伝えるよう意識する	12ヶ月	本人の理解度に合わせて情報提供し、選択肢を過度に増やさない
6	関係機関連携及び支援体制の構築	困ったときに相談できる相手や方法を理解し、適切に支援につながる事ができる	12ヶ月	千葉相談支援事業所Guardian	困ったときに一人で抱え込まず、些細な事でもLINE等を通してコミュニケーションを図るよう意識する	12ヶ月	関係機関間で情報共有を徹底し、支援方針の不一致を防ぐ